

令和3年度大学院入学試験問題 (前期募集)

教育実践高度化専攻 先端教科・領域開発研究コース

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
(解答用紙のおもて面に解答を記入することとし、裏面に記入してはいけない。)
- 2 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 3 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題

平成 28 年 12 月 21 日付の中央教育審議会答申（「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」）において次のように記されている。

各教科等において習得する知識や技能であるが、個別の事実的な知識のみを指すものではなく、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識となるものを含むものである。

例えば、“何年にこうした出来事が起きた”という歴史上の事実的な知識は、“その出来事はなぜ起こったのか”や“その出来事がどのような影響を及ぼしたのか”を追究する学習の過程を通じて、当時の社会や現代に持つ意味などを含め、知識相互がつながり関連付けられながら習得されていく。それは、各教科等の本質を深く理解するために不可欠となる主要な概念の習得につながるものである。そして、そうした概念が、現代の社会生活にどう関わってくるかを考えていけるようにするための指導も重要である。基礎的・基本的な知識を着実に習得しながら、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容（特に主要な概念に関するもの）の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる概念としていくことが重要となる。

ここでは、「何を理解しているか、何ができるか」といった生きて働く「知識・技能」の習得の重要性が強調されている。学校教育においてどのような取り組みが期待されているのだろうか。先端教科・領域開発研究コースで取り組みたい内容と関連づけて、あなたが考えることを 1,200 字以内で書きなさい。